宮田南小学校通信

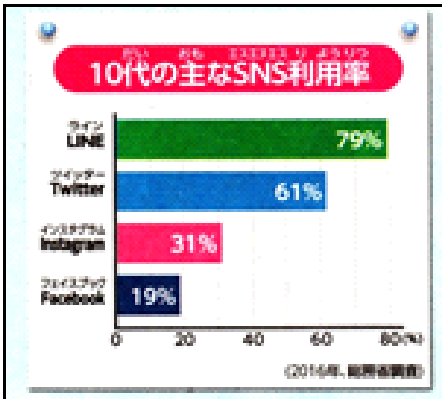
夏休みまでに、学校に登校するのは、残り５日になりました。そこで、夏休みに入る前に、ＳＮＳの危険性について、お知らせします。

ちょうど、７月４日の読売新聞に、次のような記事がありましたので、紹介します。

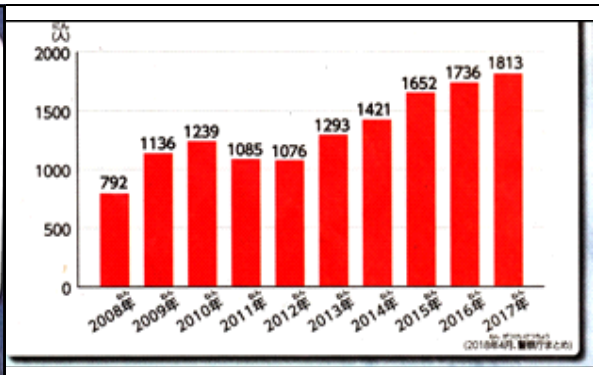
登録した人がインターネット上で交流するのがＳＮＳです。スマートフォン（以下　スマホと表示）などでメッセージを送ったり、返事をもらったりできます。また、検索をすれば、自分の知りたい情報を見つけることもできます。

スマホを使う人が増えるにつれて、ＳＮＳを利用する人も増えてきました。２０１６年の総務省の調査では１０代の主なＳＮＳの利用率は次のグラフのとおりだそうです。そして、１０代の８３％がＬＩＮＥやTwitterなどのＳＮＳを利用しているという結果が出ています。

しかし、このＳＮＳには怖いところがあります。



SNS　便利だけど　危ない！



２０１８年４月に警察庁がまとめた、ＳＮＳで事件の被害にあった児童数の推移が上のグラフです。ご覧の通り被害にあった児童数は年々増加しています。

被害の一部として左のことがあります。

保護者の皆様に、ぜひお願いしたいことは、次の３つです。

一　子どもの状況をチェックする。

二　子どもの能力に応じたインターネット利用ルール設定をする。

三　家庭でも必ずルールを作って、子どもに守らせる。

これらのことは先日配付しました【スマホ・ケータイ・ゲーム利用の危険性】に詳しくありますので、もう一度ご確認ください。

子どもは大人と違い、ＳＮＳの怖さを知りません。右の絵のように、ＳＮＳで知り合った人について、子どもたちは疑うことを知らず、とてもいい人だと思ってしまうものです。ところが、その相手は名前や年齢等を偽っていたり、最悪なときは、お家の人には内緒で会いたいといってきたりします。

このようなことにならないように、保護者の方々に子どもを守る確かな目をもって、お子様を見守ってください。